

障害者目線で店舗新築



車いす来店者に配慮したテーブル席
11月10日、始良市東餅田

はいから亭始良・あす開店

外食チェーンを展開する康正産業(鹿児島市、肥田木康正社長)は、始良市東餅田の国道10号沿いのファミリアレストラン「ふあみり庵はいから亭始良店」をバリアフリー仕

様に新装した。12日オープンする。障害者就業支援をしている霧島市のNPO法人eワーカーズ鹿児島の助言を受け、障害者目線で全面建て替えた。同社のファミレスは

県内外55店舗。既存店舗もバリアフリー化を進めているが、より障害者の立場で使い勝手の改善を図るため、設計段階から同法人に協力をもらった。

店舗は延べ床面積約450平方メートル。人工肛門の来店者用にトイレにオストメイトを設置し、宴会場は高齢者が膝や腰に負担がかからないよう掘り座席にした。テーブル席は全20卓のうち2卓を車いす来店者向けにしたほか、カウンターの奥行きを通常より広く取った。

視察した同法人の紙屋久美子理事長は「障害者は食事したくても行ける店は限られている。心おきなくもてなしが受けられる店はありたい」と感想を語った。(黒田昌平)